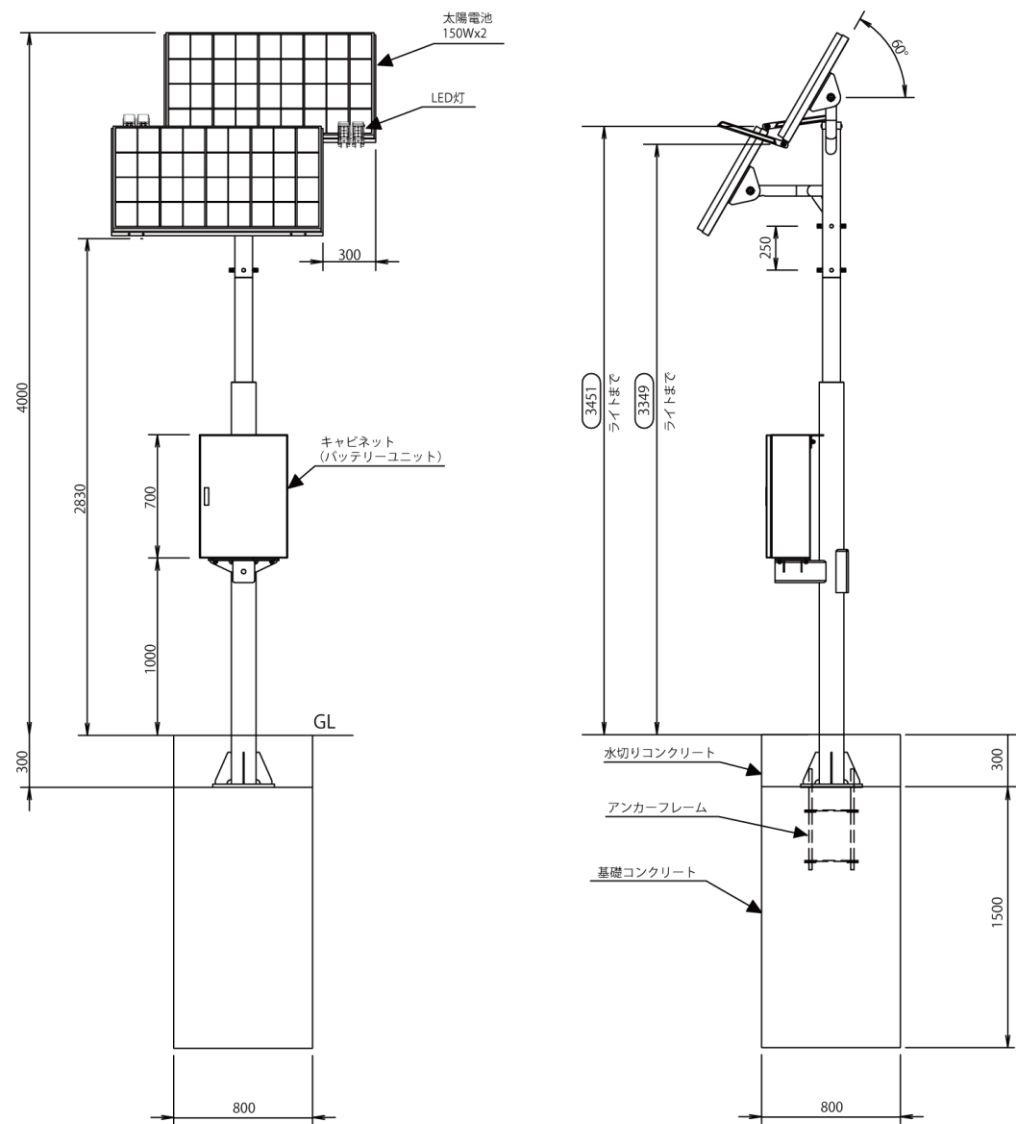


SPECIFICATION 製品仕様



SPEC スペック

地上高	約4000mm	照明	高照度LED 色温度 3000K 消費電力 約4.5W × 4 (照度設定：middleの場合)
重量	約200kg	電池	ラミネートリチウムイオン電池 (EVリバーパス) 公称電圧 7.5V × 4 容量 50Ah × 2
使用温度範囲	-10℃～50℃	ソーラーパネル	単結晶系ソーラーパネル 寸法 1180mm × 670mm × t35 最大出力 150W × 2
塗装色	グレー		

お問い合わせはこちら

開発・製造・販売元

MIRAI-LABO株式会社

〒192-0011 東京都八王子市滝山町1-886-1

TEL：042-673-7113 FAX：042-649-5574

<https://mirai-lab.com>



本カタログの内容は予告なく変更することがあります。 2025.01.16

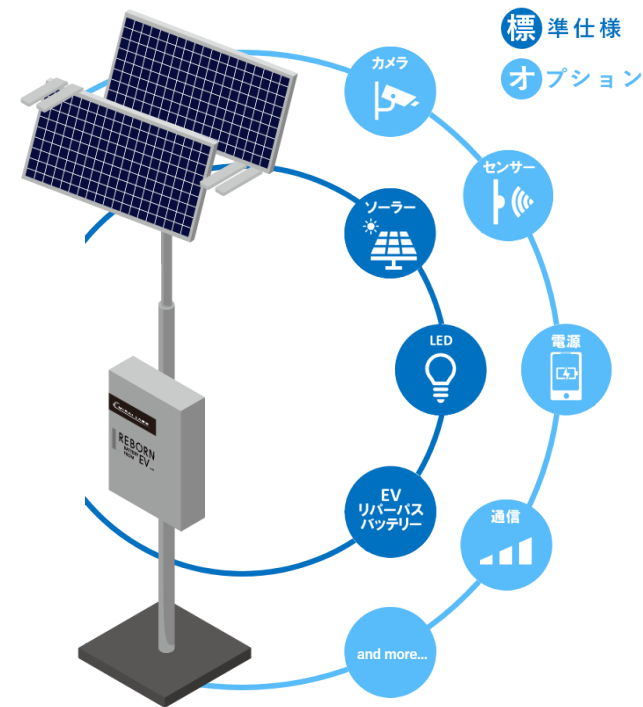
生まれ変わっても、人のために。

THE
REBORN
LIGHT
smart

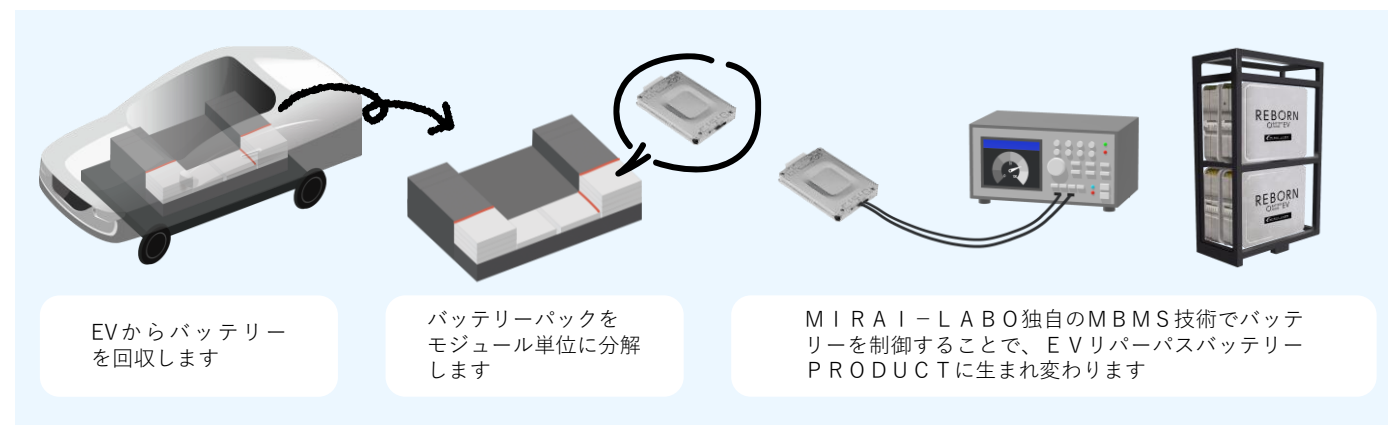


走る役目を終えたバッテリーは、 自然にやさしい街路灯に 生まれ変わる。

自律型ソーラー街路灯THE REBORN LIGHT smartは、走る役目を終えたバッテリーから生まれ変わった、環境にやさしい自律型街路灯です。電源が無い場所にも簡単に設置ができ、カメラや通信、センサーなど様々な機器を接続してスマートポールとして活用することも可能です。商用電源を必要としないため、災害時や停電時には電源スポットとしても活躍します。今まで電気がない場所ではできなかったデータ取得や遠隔監視などを可能にし、DX/GX推進や災害に強いまちづくりに貢献します。

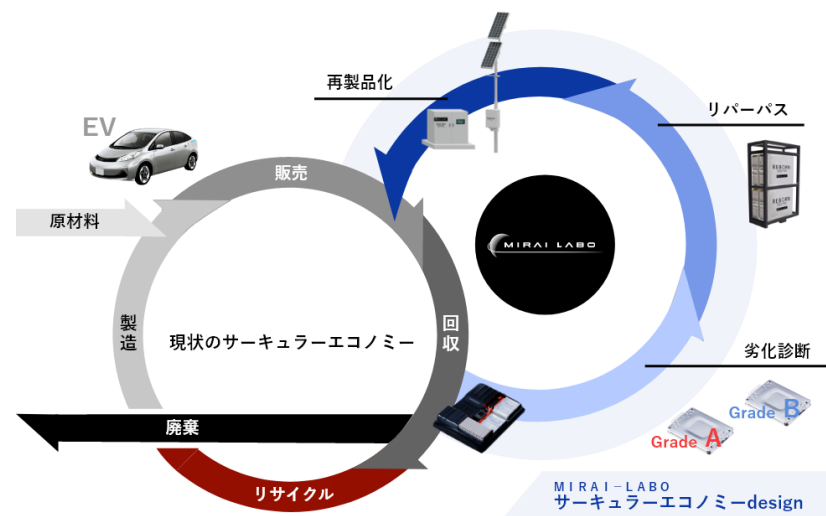


THE REBORN LIGHT smart ができるまで

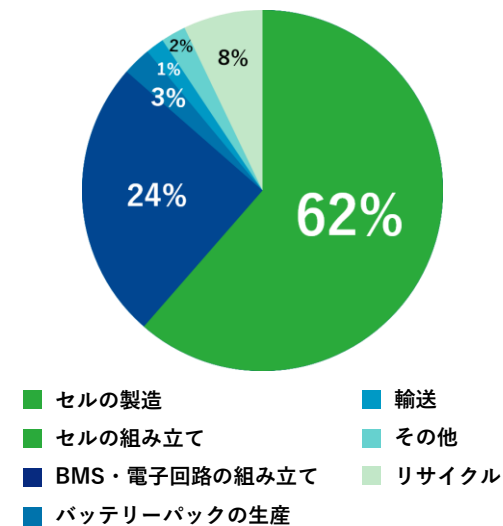


カーボンニュートラル実現に貢献

現在、EVに使用されているリチウムイオンバッテリーの効率的なリサイクル方法は確立されておらず、廃棄が海外へ流出しています。リサイクル技術確立までの間、車以外の用途にリバーパスすることで、将来的にEVのサーキュラーエコノミーを実現します。



EVの廃バッテリーを再製品化(リバーパス)することで、バッテリー製造時に排出されるCO2の**約62%を大幅削減** ※当社調べ



THE REBORN LIGHT smart の 特 長



オプション追加でスマート化

THE REBORN LIGHT smartは、高性能・大容量のバッテリーを搭載しており、カメラや通信機器、センサー等を接続して独立電源型のスマートポール化が可能です。災害時に停電が起きても電力が途切れることなく、スマート機能を継続して使用することが可能です。



災害時の非常用電源として使用

災害等に停電が起きても、商用電源に繋がっていないTHE REBORN LIGHT smartには影響がありません。また、蓄電した電力を非常用電源として使用するオプション機能を追加することで、スマートフォンの充電などに電源を提供することも可能です。



遠隔からデータの監視が可能

THE REBORN LIGHT smartにはオプションで遠隔監視機能がつけられる為、バッテリーの状態、電力使用量、蓄電量など様々な情報をリアルタイムで監視でき、不具合にいち早く気付くことができます。また、CO2の削減量も記録することができます。

THE REBORN LIGHT smart の 導 入 メ リ ッ ト

01 完全自律型(独立電源)

THE REBORN LIGHT smartはEVの使用済みバッテリーと、ソーラーパネルを組み合わせた自律型のソーラー街路灯です。ソーラーで発電した電力をバッテリーに蓄電し稼働するため商用電源は必要なく、電気が通っていない場所にも設置可能です。

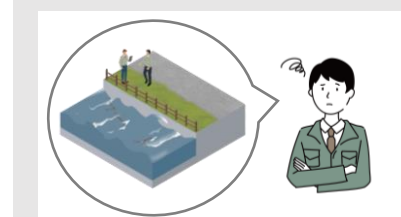
02 設置工事のコスト軽減

従来の街路灯(商用電源を必要とする)とは違い、THE REBORN LIGHT smartは電線の埋設工事の必要がありません。ローコストでの設置が可能なほか、河川付近や無電化地域でも設置が可能です。

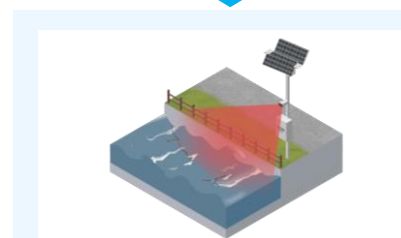
03 ランニングコスト削減

従来の街路灯ではメンテナンス費用として電球の交換以外に、断線の際に地中配線を掘り起こす工事など、莫大な費用が掛かっています。THE REBORN LIGHT smartは完全自律型のため、これらメンテナンス費用がかからず、電気代もゼロ円です。

THE REBORN LIGHT smart の 使用 例



河川の氾濫対策をしたいが、電線もなく、電力の確保が難しい...



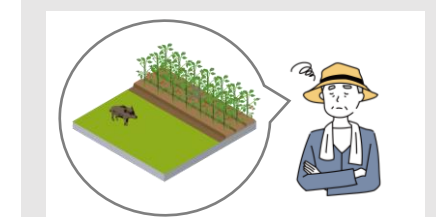
- 河川の氾濫を監視カメラで確認
- 現地での直接確認の必要がなく安全



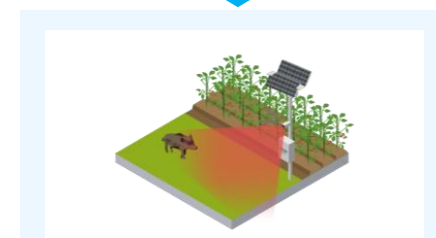
セキュリティを強化したいが、商用電源を延長するとコストがかかる...



- 監視カメラで犯罪抑止
- 警報音や光で窃盗犯に警告



無電化地域で害獣対策を行いたい...



- センサーで害獣を感知
- 警報音や光で対策